

武蔵野市

市勢要覧

2022

わたしらしく、あなたらしく

(2024年3月改訂版)



わたしらしく、 そしてあなたらしくあるために

ここは魅力的なまちだ。

いろいろなまちの姿があり、多様な人々が集い、

たくさんの魅力と出会いにあふれている。

まちのにぎやかさも、自然の中の静寂も、そのすべてが心地良い。

何かに向かって歩いている、立ち止まって考えていても、

この地に伝わる古くからの伝統や、人々の中で生まれ続ける文化が

ありのままの「あなた」を包み込んでくれる。

いつだって、わたしらしく、

そしてあなたらしくいられるまちだから、

わたしは今日もこのまちにいる。

Contents

4	Greetings 一発刊にあたりー	18	集い創造する
6	武蔵野市市制施行75周年記念 わたしらしく咲き誇る	20	守りつなげる
8	View of MUSASHINO 吉祥寺/中央/武蔵境	22	進化し続ける
12	見つけた、わたしの居場所	24	好きがあふれる
14	手と手を取り合う	26	世界を広げる
16	未来を育む	28	MUSASHINO FOLDER 議会・行政/名誉市民/年表
		30	City Profile



武蔵野市長
おみのりのやすひろ
小美濃 安弘

誰もが安心して暮らし続けられるまちへ

昭和22（1947）年11月3日、東京都で3番目の市として誕生した本市は、令和4（2022）年に市制施行75周年を迎えました。

23区と多摩地区の接点に位置し、市域は東西6.4km、南北3.1km、面積は10.98km²とコンパクトかつ平坦で交通の利便性が高く、緑豊かで良好な住環境が広がる魅力のあるまちとして発展してまいりました。市制施行時6万

3000人だった人口は、令和4（2022）年9月には14万8000人を超えています。緑あふれる文化・商業エリアである吉祥寺駅圏、行政機能、文化・スポーツ機能が集積するエリアである三鷹駅圏、好奇心を満たす文教エリアである武蔵境駅圏と、それぞれ異なる3つの駅圏域があり、地域の特性を生かしたまちづくりを進めています。現在では住みたいまちとして高く評価される本市の発展は、市民

の皆さまをはじめとして、市を支えるすべての関係者の方々のご尽力の賜物と深く敬意と感謝の意を表します。

「誰もが安心して暮らし続けられる魅力と活力があふれるまち」を本市の目指すべき姿に掲げる武蔵野市第六期長期計画の調整計画が令和6（2024）年4月から始まります。「住んで良かった、住み続けたい」と思っていただけ、誰もが安心して暮らし続けられるまちを目指し

て、一人ひとりが“わたしらしく、あなたらしく”過ごせるまちであり続けるために、市民の皆さまと共に未来を見据えて挑戦してまいります。

本要覧は、市制施行75周年を記念して、本市の現状をご理解いただくとともに、まちの魅力を再発見いただきたいと思い作成しました。ご覧いただき、持続可能なまちづくりに皆さまのお力添えをいただければ幸いです。



Instagram写真募集キャンペーン
令和4（2022）年6月1日～8月31日実施

#らしく武蔵野

4、5ページにはInstagramで「#（ハッシュタグ）らしく武蔵野」をつけて応募された写真を掲載しています。ほかにも「わたしらしく、あなたらしくいられる武蔵野市」をテーマにした多くの写真が寄せられていますので、ぜひ「#らしく武蔵野」で検索してみてください。

武蔵野市Instagram
公式アカウントはこちら



市勢要覧の発行にあわせて開設しました

武蔵野市プロモーション WEBサイト

本冊子（市勢要覧）に掲載しているインタビュー記事や市政情報についてより詳しく紹介しています。ぜひご覧ください。

武蔵野市プロモーション
WEBサイトはこちら



もっと
詳しく

わたしらしく咲き誇る



令和4（2022）年で市制施行75周年を迎えた武蔵野市。
武蔵野市にゆかりのある皆さんから、
武蔵野市そして市民の皆さんへメッセージをいただきました。



手塚プロダクション
プランニングプロデューサー
手塚 るみ子さん

Profile

プランニングプロデューサー。手塚プロダクション取締役。手塚治虫文化祭（キチムシ）実行委員長。漫画家・手塚治虫の長女として生まれる。広告代理店でセールスプロモーションやイベント企画に携わった後、父親の死をきっかけに手塚作品のプロデュースを開始。音楽レーベル「MUSIC ROBITA」を設立し手塚作品の音楽企画も制作。

私と武蔵野市のご縁は成蹊小学校へ入学したことが始まりで、以来大学卒業まで自由な校風と自然豊かな学び舎で大切な時間を過ごしました。成長とともに吉祥寺で革新的な文化や流行の最先端に触れ、いろいろなものを吸収しました。市内の住宅街を歩くことが昔も今も好きで、昔のままのお屋敷や新しく建築されたモダンな建物を見つけては、変わらないものと変わっていくものの共存を楽しんでいます。また、突然に雑貨屋やギャラリーが現れるのも武蔵野市ならではの魅力です。そこから受け取るものを今後も創作につなげていきたいです。



作家
乃南 アサさん

Profile

早稲田大学を中退後、広告代理店勤務などを経て、昭和63（1988）年『幸福な朝食』が日本推理サスペンス大賞優秀作に選ばれデビュー。『凍える牙』で第115回直木賞、『地のはてから』で中央公論文芸賞、『水曜日の凱歌』で第66回芸術選奨文部科学大臣賞を受賞。著書に『チーム・オペリベリ』『ニサッタ、ニサッタ』『いつか陽のあたる場所で』など。

吉祥寺は不思議なまちで、碁盤の目に通っている道路にJRが斜めに突っ切っていて、井ノ頭通りも微妙にかしいでいて、方向感覚が狂ってくらら感のあるまちなんです。昔のハモニカ横丁は今みたいにきれいではなく、闇市らしさが残っていました。デパートが3つあって、新宿のそれと比べるとちょっとしょぼい感じでしたが、私はそこが好きでした。アトレになる前のロンロンも好きでした。今のまちには、大きな資本が入って以前に比べ身綺麗になって、人間臭さが薄くなっていくことに寂しさも感じますが、今でも個性的で考え方が自由で、ほかにないオリジナリティのあるお店が多くあるというのが吉祥寺らしいと感じています。



武蔵野赤十字病院
院長
泉 並木さん

Profile

昭和53（1978）年東京医科歯科大学医学部卒業後、東京医科歯科大学第二内科に入局。平成20（2008）年には武蔵野赤十字病院副院長、平成28（2016）年には同院院長に就任。C型肝炎ウイルスが発見される以前からインターフェロン治療に取り組み、肝がんのラジオ波熱凝固療法で世界的にも知られている。

私が働く武蔵野赤十字病院では、高度急性期医療に特化した病院として、ロボット手術や腹腔鏡手術、ゲノム医療などを行っているほか、救急搬送を1年に約1万台受け入れています。令和7（2025）年には全室個室の新病棟が完成予定で、さらに医療環境が充実します。私は武蔵野市界隈に暮らして50年近くになりますが、市内ではかかりつけ医と地域の病院との連携がうまく機能していることに代表されるように、市民の皆さんが協力し合って良いまちをつくろうという意識が高いと感じています。今後もさらに発展・充実させ、質の高い医療を市民の皆さんに提供できるように尽力していきたいです。



サッカー選手
岩淵 真奈さん

Profile

平成5（1993）年武蔵野市生まれ。W杯2011優勝、ロンドンオリンピック2012準優勝、W杯2015準優勝、W杯2019ベスト16、東京オリンピック2020ベスト8に貢献。小学生の頃は市内クラブに所属。INAC神戸レオネッサ、イングランドのアストン・ヴィラFCを経てアーセナル・ウィメンFCへ。

市制施行75周年おめでとうございます。令和3（2021）年に開催された東京オリンピックは、長年目指していた大会だったので無事に開催されたことに本当に感謝しています。一方で、チームとして良い成績を残せなかったことは悔しく思っています。私がサッカーを始めたのは市立関前南小学校の関前サッカークラブで、現在のプレースタイルはその時に身に付けました。世界の女子サッカーの進化はすごく、それに負けないように、日本人の良さである緻密さ、一つになる力を今回のワールドカップまでに強化したいです。私の大好きなまち、武蔵野市の皆さんに応援してもらえよう、これからも頑張ります。



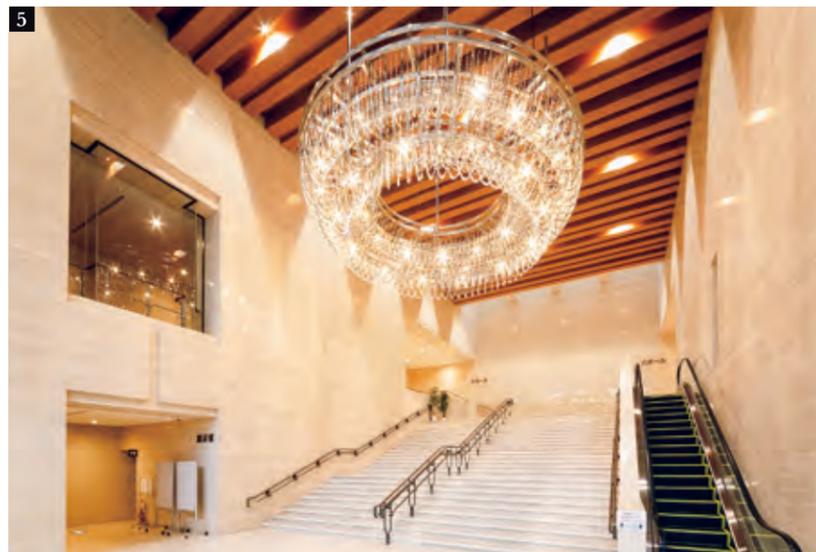
AREA

中央



行政機関と憩いのエリア

中央エリアには、市民の暮らしを支える行政機関や、文化・スポーツ施設が集中しています。都立武蔵野中央公園や玉川上水など、憩いの場や散策に適したスポットも数多く存在しており、思い思いにゆったりと楽しめるエリアです。



1 武蔵野陸上競技場 2 むさしのエコreゾート 3 市立グリーンパーク緑地 4 武蔵野クリーンセンター 5 武蔵野市民文化会館 6 中央通り(市役所前)の桜並木

AREA

武蔵境



好奇心を満たす文教エリア

鉄道の連続立体交差事業と駅の南北一体化を機に大きく変化したエリア。複数の大学や文化施設などの影響で、さまざまな学問や活動が育まれる文教エリアとして進化しています。周囲には住宅街が広がり、西端に都立小金井公園があります。



1 ひと・まち・情報 創造館 武蔵野プレイス、市立境南ふれあい広場公園 2 桜堤地域の桜並木 3 市立境山野緑地 4 市立境冒険遊び場公園 5 市立武蔵境ぼっぼ公園 6 武蔵境駅前(北口)

見つけた、わたしの居場所

魅力あふれるこのまちで、

さらなる活力を生み出している人々に出会いました。

むさしのばやし保存会
会長
あみの じゅんじ
小美濃 純彌さん



INTERVIEW
01



地域の伝統芸能を
いつまでも
残していくために

むさしのばやしの始まりは今から160年ほど前、江戸時代にさかのぼります。現在は教室での指導のほか、市内のお祭りや施設で演奏していますが、地域の方々にお囃子を知ってもらい、継承していくのが我々の最大の使命です。後継者を育てるのは時間がかかりますが、いつまでも伝統を残していけるようにこれからも活動を続けていきます。



INTERVIEW
02

芝生づくりで、地域の子どもと大人が思い切り遊び憩える場所を

むさしの市民公園を中心に芝生づくりやメンテナンスを行っています。子どもたちがはだで走り回れる場所をつくりたいという思いから活動を始めました。親子連れなどが芝生の上で遊んだり、お弁当を広げて楽しく過ごしているのを見ると、やりがいを感じます。

NPO法人ファングリーン
代表理事
とつか こうすけ
戸塚 航介さん(上)

副代表理事
ほそくぼ とし
細窪 迅さん(下)



人と猫、どちらも気持ち良く
暮らせるまちづくりを目指して

地域猫のTNR (Trap-Neuter-Return : 捕獲・去勢不妊手術・リターン) や、不妊・去勢手術を施した地域猫のお世話、保護・里親募集などを行っています。辛い目にあった猫が優しい里親さんに引き取られて幸せに暮らしている様子を見た時など、活動をしていて本当に良かったと思います。

むさしの地域猫の会
会長
にしむら まいこ
西村 麻衣子さん



INTERVIEW
03



INTERVIEW
04

戦争の悲惨さと平和の大切さを、
世代を超えて伝えていきたい

武蔵野市には軍用飛行機のエンジンを生産していた中島飛行機武蔵製作所があったため、戦中に激しい爆撃を受けた歴史があります。戦争の悲惨さ、平和の尊さを伝えるために、爆弾の破片などの戦争遺物の展示やパネル展、講演会などの平和啓発事業を企画し、行っています。



非核都市宣言
平和事業実行委員会
委員長
なかざと すうりょう
中里 崇亮さん(右)

副委員長
こひら ともこ
小餅 友子さん(左)

おもちゃが直った時の笑顔が見たくて

壊れてしまったおもちゃを預かり、「おもちゃドクター」として修理しています。「開院」場所はコミュニティセンターやテンミリオンハウス、子ども食堂、0123吉祥寺など。メンバーがそれぞれの得意分野を生かして作業しています。子どもたちに喜んでもらえるのが大きなやりがいですね。



INTERVIEW
06



吉祥寺東
おもちゃ病院
代表
よねやま さぶろう
米山 三郎さん(左)

所属メンバー
わたべ はじめ
渡部 一さん(右)



NPO法人ぐーぐーらいぶ
代表理事
きたがわ しほこ
北川 史歩子さん

誰もが自由に「本」を楽しみ、自分らしく豊かに生きるために

コミュニティセンターや商店会、医療機関などで読み聞かせをする「おはなし会」や、絵本の出張貸出などを行っています。本の先に人が感じられるコミュニティ(居場所)をつくりたいという思いから、子ども文庫も開設しています。本を通して人と人がつながることができ、お互いに成長できる場になりたいと思っています。



INTERVIEW
05

NPO法人
プレシャスネット
理事長
さいとう りえこ
齋藤 理恵子さん



ママたちが自分らしくすてきに
輝けるよう、応援したい

「子育てを楽しみつつ、女性として輝くママを増やし、子どもにとってよりよい未来を作る」という理念を掲げ活動しています。地域や商店街、企業の皆さんの協力をいただきながら、小さな子どもを持つママたちが外に出るきっかけとなる取り組みを行っています。



INTERVIEW
07



もっと詳しく

手と手を取り合う

年齢や状態にかかわらず、
誰もがいきいきと安心して住み続けられる。
支え合いのまちづくりを目指しています。



武蔵野市では、一人ひとりの命が守られ、誰もが安心して住み続けられる「支え合いのまち」を目指しています。地域生活に関わるあらゆる組織と人が連携し、継続的かつ体系的な支援を行うことで、「まちぐるみの支え合いの仕組みづくり（武蔵野市版地域包括ケアシステム）」を進めるとともに、地域医療の充実、相談・見守り体制の強化、福祉人材の確保・育成などの取り組みを展開しています。年齢や状態にかかわらず、住み慣れた地域でいきいきと住み続けられるまちづくりを推進していきます。

障害のある方の地域生活を支援する場

障害者地域生活支援ステーションわくらす武蔵野では、主に重度の知的障害や、重度心身障害のある方を対象に、日常生活の介助などを行う施設入所支援や、日中活動、短期入所などの障害福祉サービスを行っています。障害があっても「わたしらしく武蔵野市で暮らす」ことができるよう支援を行っています。



食を育む。むさしの

「食を通じて“いきいき”と暮らす“まち”武蔵野」を目指し、食育関連事業に力を入れています。ライフステージごとの特性に応じた講座や相談事業、おいしくて栄養豊富な学校・保育園給食の提供のほか、地産地消の推進、健康づくりやフードロス低減の取り組みなどを展開しています。

「食を育む。むさしの」特設ページ



いきいきサロン

高齢者対象のサロン事業を定期的で開催しています。体操、脳トレーニング、歌、囲碁、将棋などの活動を通して、健康づくりや介護予防につなげているほか、仲間づくりや多世代との交流の場にもなっています。

在宅医療・介護連携の推進

高齢や病気になっても住み慣れた環境で自分らしく生活できるよう、在宅医療・介護連携の取り組みを進めています。医療機関と介護事業者との連携、介護予防活動団体とのネットワーク、情報共有の仕組みづくりなどを強化し、まちぐるみのサポート体制を構築しています。



ゆりかごむさしの母子保健サービス

妊娠期から出産、子育て期までを切れ目なくサポートするため、母子保健事業を強化しています。母子健康手帳交付時のゆりかごむさしの面接、専門職による妊婦相談のほか、産後ケア事業、離乳食や育児に関する相談や講座を実施しています。



Pick up!

福祉総合相談窓口にご相談ください



福祉に関する「どこに相談すれば良いのか分からない」、「どうすれば解決するのか分からない」困りごとや生活の不安などについて福祉相談コーディネーターがお話を伺い、関係機関と連携し、解決に向けて支援しています。



もっと詳しく

未来を育む

笑顔あふれるまちの未来のため、
子どもたちを地域で育み、
子育て家庭に寄り添います。

武蔵野市では、子どもたち一人ひとりがかけがえのない存在として尊重されるとともに、健やかに成長・発達できるまちづくりを目指しています。また変化の激しい時代の中で必要な「生きる力」につなげる個に応じた自信と、生涯にわたって続く学ぶ意欲を育む施策を進めています。そして、誰もが安心して子どもを産み育てられるまちの実現に向けて、子育て支援を充実するとともに、子育て家庭を地域社会全体で応援する取り組みを充実させていきます。

地域の力を生かした 子育てひろば

子ども同士、保護者同士が出会いとつながりを持って、安心して過ごせる場所です。常設型施設のほか、コミュニティセンターなど身近な場所でも地域の子育て支援団体により運営されています。仲間づくり、情報交換のほか、「みんなはどうしてるの？」などの子育て相談も気軽にできる温かい居場所づくりを行っています。

学校教育の充実

授業力の維持向上を図るため、独自に市講師を効果的に配置し、専門的な指導で授業の質の向上を目指しています。また、タブレット端末を利用した教育にも取り組んでいます。

教育相談の充実

教育支援センターでの相談のほか、教育相談員やスクールソーシャルワーカーなどを学校に派遣することで、学校と家庭への支援を強化しています。発達の問題、不登校、外国人の子どもの学校生活における言葉の問題など、多様化・複雑化する課題に対応し、子どもと家庭を支えています。

中高生世代 ワークショップ

中高生世代が市政や地域活動について学び、意見を交わすワークショップを開催しています。まちへの理解を深めたり、将来に向けた事業や政策を考え、提言したり、共有したりすることができる場となっています。

保育園の待機児童対策

安心して子育てできる環境づくりのため、保育施設の整備を進めてきました。令和2（2020）年度以降、待機児童数ゼロを達成しています。今後も維持し、希望する保育施設に入所できるように取り組みを進めています。

Pick up!

18歳までのすべての子どもの 医療費助成を行っています

武蔵野市は、すべての子どもの保健の向上と子育て家庭の経済的負担の軽減を図るために、市独自に高校生等の医療費助成を行っています。令和4（2022）年度からは助成の内容を拡充し、入院費に加えて、通院・調剤などについても、保険診療の自己負担分を助成しています。



もっと詳しく

集い創造する

わたしらしく、あなたらしく。
一人ひとりの「らしさ」が調和し、
まちの魅力になっていきます。

一人ひとりの命と人権が守られる平和な社会を維持し、誰もが安心して暮らせるよう、災害や危機に強いまちづくりを継続しています。市民自治の歴史を継承しつつ、コミュニティ活動のさらなる活性化を目指すとともに、持続可能な地域社会のために多様性への理解や国際交流、産業振興などを行い、魅力的で価値あるまちづくりを進めています。



芸術文化をもっと身近に

誰もが芸術文化を享受できる機会づくりと、身近に体験などができる環境づくりとして、市立小・中学校と連携したアウトリーチ事業（学校などにアーティストを派遣）を実施しています。また、学校以外の施設・機関とも連携し、事業を展開しています。

防災・防犯力向上

武蔵野市では災害に強いまちづくりを進めるとともに、自主防災組織への支援を通じて、自助・共助による防災力の向上を図っています。また安全・安心なまちづくりのため、市民、関係機関などとの連携により、さまざまなパトロール活動を実施しています。

市民が集う コミュニティセンター

市民が自由に利用できる多目的施設です。地域の住民で組織されるコミュニティ協議会によって運営されています。多目的室、会議室、学習室、調理室など、さまざまな部屋があり、各地域のコミュニティ活動や情報発信の拠点として利用されています。



平和と憲法の 大切さを伝える

戦争の悲惨さと平和の尊さを伝えていくため、武蔵野市平和の日条例を制定し、市民と共に平和事業の取り組みを進めています。また基本的人権の尊重など憲法への関心を高めてもらう事業も実施しています。



MIDOLINO



スタートアップカフェ 武蔵境



創業と事業継続を 支える仕組み

資金調達相談や経営相談など、各種相談事業を行っています。事業者のチャレンジや事業の引き継ぎのサポートを通して、まちの経済活性化を促進することを目指しています。

Pick up!

パートナーシップ制度ができました



パートナーシップ制度とは、性別などにかかわらず、お互いを人生のパートナーとして約した2人が、安心して暮らし続けられることを目的とした制度です。市長が届出を受理し、受理証を交付します。



もっと詳しく



魅力ある公園づくり

市内の公園緑地は、緑や水辺が広がる地域資源であるとともに、身近な自然に親しみ、憩うことのできる場となっています。公園緑地の保全や施設の維持・管理、リニューアルなどを進めています。

守りつなげる

まちをゆるやかに包む
緑と水のネットワークは、
次世代に受け継ぐ財産です。

武蔵野市が誇る魅力の一つである緑や水辺、生物多様性などを守り、次世代に引き継いでいくため、環境保全や啓発活動に取り組んでいます。また、持続可能な環境都市を実現するため、省エネルギーや脱炭素、緑を基軸としたまちづくりを推進しています。そして、市民と行政が一体となってごみ減量やまちの美化に取り組み、環境の変化に対応するとともに良好な生活環境の確保に努めています。



気候市民会議の開催

地球温暖化・気候危機問題を共有し、脱炭素社会を目指して、その対策について話し合う「気候市民会議」を開催し、市民の環境に配慮した行動への促しや後押しをする取り組みを進めていきます。行政主催では日本初の試みとなります。



農業に触れ緑に親しむ

農業の指導員のもと、農作物の栽培・収穫ができます。旬の野菜を育てるとともに、食材セミナーや収穫祭なども実施。農業を通じて緑の大切さやその保全の意義を感じてもらえるように進めています。

受動喫煙防止とまちの美化

喫煙トレーラーハウス（閉鎖型喫煙所）の設置などにより受動喫煙を防止するとともに、路上喫煙禁止とポイ捨て禁止マークを路上貼付し、まちの美化を推進しています。



環境問題を考える機会を創出

省エネルギー、ごみ分別、リサイクルなど、日常的な環境に配慮した行動を推進するため、むさしのエコreゾートを拠点に、多様な主体と連携しながら環境啓発の取り組みを推進しています。

Pick up!

まちの緑を守っている方々がいま



「てんとう虫の会」の皆さん
活動：市立上水北公園

市立公園などを拠点として活動を展開する緑ボランティア。公園の清掃や維持管理などのほか、市民が公園に親しみ、緑を楽しめるよう、季節や各公園の特色を生かしたイベントを実施しています。



もっと詳しく

進化し続ける



地域が紡いできた
思いを大切に、
地域の特性を生かしたまちづくりを。

武蔵野市では、地域ごとの特性を生かし、市民参加を取り入れながら、地域の魅力向上や新たな価値の創造を推進しています。また、計画的・効率的・持続的な都市基盤の整備・維持・更新や土地利用に努めるとともに、誰もが快適かつ安全に過ごせる都市環境づくりや、良好な住環境づくりを進めています。時代の変化や市民のニーズに柔軟に対応しながら、活力あふれる、いつまでも住み続けたいまちづくりを実現します。

個性あふれる 魅力あるまちづくり

地域ごとに積み重ねてきた風土や文化を踏まえ、地域のさまざまな主体による活動を支援しながら、まちづくりを進めています。社会実験などを実施することで具体策を検討しています。



自転車・駐輪場 利用環境の向上

自転車安全利用講習会の実施や自転車走行空間の整備、駐輪場の効果的な利用の促進などにより、誰もが安全かつ快適に利用できる自転車利用環境の整備を進めています。



バリアフリーに配慮した まちづくり

バリアフリー基本構想に基づき、高齢者や障害のある方、乳幼児連れの方など、市民や来街者の誰もが安全で安心な施設利用や円滑な移動ができるよう、道路、公園、建築物や公共交通などのバリアフリー化を進めています。

安全で安心な水道水

水道施設は市民生活を支える極めて重要なライフラインの一つです。安全で安定的な水道水供給のため、水道施設の維持・更新などを図るとともに、水道事業の基盤強化のため、都営水道への一元化を目指した取り組みを進めています。

Pick up!

市民参加で迅速な維持管理への 対応が可能になりました



道路・街路灯・街路樹・公園・下水道などに関する不具合を、LINEで武蔵野市へ通報できるシステムを導入しています。通報・情報提供された画像や位置情報によって、これまで以上に迅速な対応が可能となりました。

武蔵野市公式LINE



好きが あふれる

多彩な催しや交流、
喜びを分かち合う笑顔。
薫り高い文化が
生まれ続けるこのまちで、
日々を彩る「好き」は、
わたしらしく生きる源。



吉祥寺音楽祭



武蔵境 JAZZ SESSION

音楽

昭和61（1986）年に始まった「吉音（キチオン）」の愛称で親しまれているまちぐるみの音楽イベント「吉祥寺音楽祭」やプロミュージシャンも出演する「武蔵境JAZZ SESSION」、昭和63（1988）年から始まった「武蔵野市国際オルガンコンクール」などの開催が代表的。まちにはライブハウスやジャズ喫茶もあり、音楽好きが集まります。

多くのアーティスト、クリエイター、ミュージシャンが武蔵野市で活動する理由の一つには「音楽の街」としての魅力があったからではないでしょうか。

武蔵野市観光機構HP



農

都市と農業の共存・共生は武蔵野市における大きな魅力の一つです。発祥の地と言われている特産の「うど」をはじめ、さまざまな農産物がつくられています。市内小・中学校の給食や市内事業者との協働による新商品の開発のほか、JAや直売所にて新鮮で安全・安心な市内産農産物などが購入できます。

また農地は、防災、環境保全、生活を潤す緑の空間としてさまざまな役割を担っています。

武蔵野市農産物直売所マップ



市内産農産物とキッチンカーのコラボレーション



市内産農産物



市内産農産物とのコラボレーション商品

グルメ

市内外から人を呼ぶ個性あふれるお店や、昔ながらの商店街が軒を連ね、生活に寄り添う姿も武蔵野市ならではの。そうした市内の飲食店を盛り上げようと、まちを挙げて行われる「Musashinoごちそうフェスタ」や、各商店街の取り組みがまちに活気をもたらしています。

また、武蔵野地粉うどんの復刻や、武蔵野市にふさわしいお土産を認定する「むさしのプレミアム」のほか、市内産農産物を活用した商品の誕生など、新たな魅力も生まれています。多くの店舗の中からお気に入りを見つけてみるのも楽しみ方の一つです。

むさしのプレミアム



むさしのプレミアム



武蔵野桜まつり



吉祥寺秋まつり

お祭り イベント

武蔵野市が主催する「武蔵野桜まつり」やまちの様相ががらりと変わる「吉祥寺秋まつり」など伝統的なお祭りがあります。また地域や商店街で開催される「マルシェ」も注目です。1年を通じてそれぞれの地域でさまざまな催しが開催され、市内外から訪れる人でにぎわいます。

子どもから大人まで幅広い世代と一緒に楽しみを分かち合い、伝統文化を守りつなぐとともに、新しい絆が生まれる場となっています。

アニメ 漫画

日本から世界へと羽ばたくアニメや漫画。武蔵野市はサブカルチャーの中心地として国内外から注目を集めています。武蔵野市にゆかりの深い漫画家やクリエイターが多く、アニメプロダクションや制作スタジオが市内に存在しています。

まちや駅の風景が作中に描かれることも多く、さまざまな作品の舞台となっています。

アニメ名所



武蔵野市ゆかりの漫画家・アーティスト
コラボレーションまち装飾

吉祥寺アニメーション映画祭

Pick up!

アニメ聖地番付にも
選ばれています



©2020 劇場版「SHIROBAKO」制作委員会

人気アニメ「SHIROBAKO」の舞台となっている武蔵野市。アニメーターズ協会が発表している「訪れてみたい日本のアニメ聖地88」に2018年版から5年連続で選ばれています。

世界を広げる

地方とつながる、世界とつながる。
魅力的なまちと触れ合い、
お互いの文化を学び合いながら、
共に未来を開いていきます。

国内友好都市

鳥取県 岩美町
Iwami Town, Tottori Prefecture



世界ジオパークに認定された山陰海岸や約1300年の歴史を誇る岩井温泉で有名です。武蔵野市からは「家族ふれあい自然体験」で多くの人が訪れています。

広島県 大崎上島町
Osakikamijima Town, Hiroshima Prefecture



瀬戸内海のほぼ中央に位置する芸予諸島にあります。果樹栽培や近海漁業、造船・海運業などが盛んです。市民交流団を派遣し、交流を深めています。

長野県 川上村
Kawakami Village, Nagano Prefecture



千曲川最上流に位置し、レタス産地として有名です。八ヶ岳連峰や奥秩父の名峰に囲まれ、村内の「武蔵野市立自然の村」では子どもたちが自然体験をしています。

岩手県 遠野市
Tono City, Iwate Prefecture



柳田國男の『遠野物語』により民話のふるさととして知られています。夏休みの「家族ふれあい自然体験」や市民交流団の派遣を通じた交流を続けています。

長野県 安曇野市
Azumino City, Nagano Prefecture



北アルプスの山麓に広がる田園風景が特徴的で、ワサビやリンゴ、米といった農産物の生産で知られています。自然体験や文化イベントを通じて市民交流を続けています。

富山県 南砺市
Nanto City, Toyama Prefecture



市の一部は白山国立公園に指定、また散居村、合掌造り集落で知られています。武蔵野市とは町村合併前の旧利賀村と姉妹都市の盟約を締結以来、交流を続けています。

山形県 酒田市
Sakata City, Yamagata Prefecture



江戸時代、北前船交易で栄えた最上川河口の港町。米どころ庄内平野としても有名です。武蔵野市消防団による「酒田大火」視察を契機に交流が始まりました。

新潟県 長岡市
Nagaoka City, Niigata Prefecture



信濃川沿いに位置し、毎夏の花火大会で三尺玉が上がることで有名です。同市へ編入合併した旧小国町と「親子稲作体験」という農業体験で交流しています。

千葉県 南房総市
Minamiboso City, Chiba Prefecture



ビワの栽培、アワビ・サザエの海女漁、キンセンカの花き栽培などで有名なほか、近海捕鯨の伝統を持つまちの一つです。市民交流団を派遣し交流を深めています。

Pick up!
武蔵野市友好都市
アンテナショップ「麦わら帽子」



武蔵野市と友好都市などが出資して設立した、吉祥寺にあるアンテナショップです。武蔵野市と友好都市の特産品販売や観光情報発信などを行っています。令和3（2021）年に開店20周年を迎えました。

海外友好都市

ロシア連邦
ハバロフスク市

Khabarovsk City, Russian Federation

アムール川東岸に位置する都市です。野鳥や自然観察を通じた青少年交流が行われています。



ルーマニア
ブラショフ市

Brasov City, Romania

中世の美しい町並みが残る都市です。平成4（1992）年から、友好交流を深め、青少年交流を実施しています。



中華人民共和国
北京市内ほか

Beijing City, People's Republic of China

中国の首都です。昭和63（1988）年の親善使節団派遣以来、交流を続けてきました（現在休止中）。



アメリカ合衆国
テキサス州ラボック市

City of Lubbock, State of Texas, United States of America

米国南部の農業地帯にある都市です。昭和61（1986）年以来、友好を深め、青少年交流を実施しています。



大韓民国
ソウル特別市
江東区

Gangdong District, Seoul Special City, Republic of Korea

韓国の首都にある都市です。江東区長と職員の来訪を契機に交流を開始、現在は青少年交流を実施しています。



忠清北道忠州市

Chungju City, North Chungcheong Province, Republic of Korea

韓国のほぼ中央、南漢江上流域に位置します。職員派遣協定締結や青少年交流などを実施しています。



もっと詳しく



もっと詳しく

議会・行政

議会の役割

市議会は、予算、条例などの市政の重要な事柄を審議し、最終決定する役割を持っています。同時に、市政の執行が適正か審議します。議員自らの政策を議案として提出することもできます。また、請願・陳情を審議し、採択されたものは国、都、市政に反映されるように努めています。

行政の役割

地方公共団体には、議会と団体の長（市長）などの執行機関が置かれています。団体の長以外の執行機関には、教育委員会、選挙管理委員会、監査委員、農業委員会、固定資産評価審査委員会があり、それぞれ独立して運営されています。

名誉市民



北村西望氏
(1884～1987)
昭和37(1962)年推挙
彫塑家
(文化勲章受章)



天野貞祐氏
(1884～1980)
昭和37(1962)年推挙
哲学者
(文化功勞者)



朝永振一郎氏
(1906～1979)
昭和42(1967)年推挙
物理学者(文化勲章受章/
ノーベル物理学賞受賞)



荒井源吉氏
(1904～1983)
昭和55(1980)年推挙
元武蔵野市長



丹羽文雄氏
(1904～2005)
平成4(1992)年推挙
作家
(文化勲章受章)



長倉三郎氏
(1920～2020)
平成4(1992)年推挙
物理学者
(文化勲章受章)



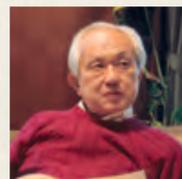
西尾勝氏
(1938～2022)
令和4(2022)年推挙
行政学者、東京大学名誉教授

国の地方分権推進委員や地方制度調査会長などを歴任。機関委任事務制度の全面廃止などを含む、いわゆる第一次地方分権改革を実現させるなど、国や地方の制度改革に大きな役割を果たされました。

また、武蔵野市の基本構想・長期計画および調整計画における策定委員長などを務め、多様な市民の参加と対話によって計画を策定するという、いわゆる「武蔵野市方式」の基礎を築かれました。



杉村隆氏
(1926～2020)
平成4(1992)年推挙
がん生化学者
(文化勲章受章)



小田稔氏
(1923～2001)
平成9(1997)年推挙
宇宙物理学者
(文化勲章受章)



伊藤正男氏
(1928～2018)
平成9(1997)年推挙
脳神経生理学者
(文化勲章受章)



山崎倫子氏
(1919～2015)
平成14(2002)年推挙
医師



西島和彦氏
(1926～2009)
平成19(2007)年推挙
物理学者
(文化勲章受章)



篠原三代平氏
(1919～2012)
平成19(2007)年推挙
経済学者
(文化勲章受章)

年表

明治22(1889)年

4月 吉祥寺・西窪・関前・境の4カ村および井口新田飛地が1村となり、武蔵野村となる／人口3089人

大正12(1923)年

9月 関東大震災が起きる／以降、東京市内より移住者が増加し、宅地化が進む

昭和3(1928)年

11月 武蔵野村から武蔵野町へ／人口1万3500人

昭和13(1938)年

中島飛行機(株)の武蔵野製作所(後に武蔵製作所)が設立される

昭和19(1944)年

11月 米軍機B29が初めて中島飛行機武蔵製作所を空襲／以来9回にわたって爆撃される

昭和22(1947)年

11月 武蔵野町から武蔵野市へ／人口6万3000人



昭和24(1949)年

10月 市営陸上競技場、サッカー場開設

昭和28(1953)年

6月 市営プール開設

昭和31(1956)年

10月 東京グリーンパーク球場解体

昭和32(1957)年

11月 人口10万3000人

昭和39(1964)年

1月 武蔵野公会堂完成
10月 東京オリンピック(聖火が武蔵野市に1泊)

昭和44(1969)年

11月 三鷹駅北口に世界連邦平和像(北村西望作)が建つ

昭和46(1971)年

9月 武蔵野市基本構想・長期計画(昭和46年度～55年度)を策定

昭和47(1972)年

8月 第1回むさしのジャンボリー開催

昭和48(1973)年

4月 武蔵野市民緑の憲章制定

昭和51(1976)年

7月 武蔵野市立コミュニティセンター条例施行

昭和52(1977)年

11月 人口13万5000人

昭和55(1980)年

8月 新市庁舎落成式(18日より新庁舎で執務)

昭和57(1982)年

3月 「非核都市」宣言

昭和59(1984)年

2月 武蔵野芸能劇場開館
10月 クリーンセンター本稼働
11月 武蔵野市民文化会館開館

昭和62(1987)年

10月 市立北町高齢者センター開館／市立保健センター開館

11月 人口13万6000人

平成元(1989)年

11月 総合体育館・温水プール完成

平成5(1993)年

6月 武蔵野障害者総合センター開設
7月 岩手県遠野市で初めてセカンドスクール実施
9月 市立高齢者総合センター開設

平成7(1995)年

3月 コミュニティFM局「むさしの-FM」開局
4月 新・市立中央図書館開館
11月 コミュニティバス「ムーバス」が吉祥寺東循環運行を開始

平成9(1997)年

11月 人口13万1000人

平成11(1999)年

11月 テンミリオンハウス事業開始

平成12(2000)年

10月 レモンキャブ運行開始

平成13(2001)年

10月 友好都市アンテナショップ「まわら帽子」開店

平成14(2002)年

2月 吉祥寺美術館開館
4月 ストリートスポーツ広場開設



平成17(2005)年

5月 吉祥寺シアター開館

平成19(2007)年

11月 人口13万4000人

平成20(2008)年

4月 境冒險遊び場公園(プレーパークむさしの)開園
11月 中学校給食(第二中学校から)開始

平成23(2011)年

7月 「ひと・まち・情報 創造館 武蔵野プレイス」開館
9月 11月24日を武蔵野市平和の日に制定

平成25(2013)年

5月 人口が14万人を突破

平成28(2016)年

7月 いきいきサロン事業開始

平成29(2017)年

4月 新・武蔵野クリーンセンター本稼働

平成30(2018)年

12月 市立小・中学校全校の体育館に冷暖房機導入を決定(令和元年度中に完了)／地域包括ケア人材育成センターを開設

平成31・令和元(2019)年

3月 障害者地域生活支援ステーションわくらす武蔵野を開設
10月 ふるさと応援寄附(ふるさと納税)の取り扱いを開始

令和2(2020)年

1月 武蔵野市新型コロナウイルス感染症対策本部を設置
4月 第六期長期計画(令和2年度～11年度)を策定／自治基本条例・議会基本条例施行／待機児童0(ゼロ)を達成(以降0を継続中)
11月 むさしのエコリゾート開館

令和3(2021)年

2月 武蔵野市くらし地域応援事業(第1弾)を実施(令和4年2月第2弾実施)

4月 児童・生徒一人1台の学習者用コンピュータを活用した授業開始／福祉総合相談窓口を設置

7月 東京2020オリンピック聖火セレブレーションを実施



8月 2学期から新校堤調理場稼働開始

令和4(2022)年

4月 高校生等の医療費助成を本格実施(令和3年4月から一部実施)／パートナーシップ制度開始

7月 気候市民会議を開催

City Profile

Tokyo

Japan

市章



昭和3(1928)年に制定されました。カタカナの「ムサシノ」をかたどっています。

人口

148,345人

(うち外国人 3,228人)

(令和4(2022)年9月1日現在)
出典:住民基本台帳

面積

10.98km²

(令和4(2022)年4月1日時点)
出典:国土地理院
令和4年全国都道府県市区町村別面積調

地勢

標高:50~65m(市役所56.98m)
広がり:東西6.4km、南北3.1km
地形:総体的に平坦
地質:ローム層(火山灰質)土壌

位置

東経139度34分10秒、
北緯 35度42分53秒の
地点(市役所)に位置する

世帯数

78,586世帯

(令和4(2022)年9月1日現在)
出典:住民基本台帳

昼夜間人口比率

108.0%

出典:令和2(2020)年国勢調査

人口密度

13,510.5人/km²

(令和4(2022)年9月1日現在)
出典:住民基本台帳

全国**772**市中**2**位

出典:令和2(2020)年国勢調査

年少人口

17,661人

(令和4(2022)年9月1日現在)
出典:住民基本台帳

平成29(2017)年から

約**700**人の増

年齢別人口比率

年少人口 **11.9%**
生産年齢人口 **65.8%**
老年人口 **22.3%**

(令和4(2022)年9月1日現在)
出典:住民基本台帳

緑被率

24.3%

(平成28(2016)年)
出典:武蔵野市自然環境等実態
調査報告書平成29(2017)年4月

商店数

1,704店舗

(令和3年(2021)年6月1日時点)
資料:経済センサス-活動調査速報

定住意向

78.4%

出典:令和2(2020)年度
武蔵野市民意識調査報告書

交通の
便が良い!



市民の声

(同報告書より「住み続けたい理由TOP3」)

公園などが
整備され、
緑が比較的多い。

買い物が便利。

3駅の1日当たりの平均乗客数

JR武蔵境駅 **47,597人**
JR三鷹駅 **71,399人**
JR吉祥寺駅 **99,319人**

西武多摩川線 武蔵境駅 **24,123人**
京王井の頭線 吉祥寺駅 **111,397人**

(令和2(2020)年度)
出典:東日本旅客鉄道株式会社
(令和3(2021)年度)
出典:京王電鉄株式会社、
西武鉄道株式会社

凡例

- コミュニティセンター
- 学校(市立小・中)
- 学校(上記以外)
- 消防署
- 警察署
- 市政センター
- 図書館



MUSASHINO City Data

公園面積

※都立公園含む
(令和4(2022)年4月1日)
市民1人当たり
4.41m²

医療施設

(令和4(2022)年1月1日)
病院・診療所 **206**カ所
歯科診療所 **160**カ所
救急診療 **4**カ所

医療従事者

人口:令和4(2022)年9月1日
医師数:平成30(2018)年12月31日
医師 **1**人
市民293人に1人
歯科医師 **1**人
市民706人に1人

図書館蔵書

(令和4(2022)年3月31日)
市民1人当たり
6.5冊

教員

※市立のみ
(令和4(2022)年5月1日)
小学校児童 **18**人に1人
中学校生徒 **14**人に1人

交番・駐在所等

(令和4(2022)年1月1日)
16カ所

消防署員

(令和4(2022)年4月1日)
市民**797**人に1人

予算規模

(令和4(2022)年度)
※一般会計(当初予算)
705億8600万円
市民1人当たり
47万6852円
(令和4(2022)年1月1日)

わたしらしく、あなたらしく

武蔵野市市勢要覧2022

発行日：令和4(2022)年11月／令和6(2024)年3月改訂

発行：武蔵野市

武蔵野市緑町2丁目2番28号

TEL：0422-51-5131

企画・編集：武蔵野市総合政策部秘書広報課

株式会社ジャパンインターナショナル総合研究所



武蔵野市
プロモーションWEBサイト
「わたしらしく、あなたらしく」
